

大阪市水道局との膜用 PAC 共同研究のお知らせ

当社はこのたび、大阪市水道局と環境配慮型水処理凝集剤「膜用 PAC」に関する共同研究協定を締結しました。実施期間は令和8年8月から令和13年3月までの4年7ヶ月間を予定しております。

膜用 PAC は、当社が新規開発した、膜閉塞抑制とろ過水質向上を目指す環境配慮型水処理凝集剤です。本剤適用により、単位水量あたりに必要な膜本数や膜処理動力を低減できる可能性があり、膜処理コストの低減が期待されます。一部浄水場におきまして実証試験を実施し、良好な結果と知見を得ております。

本共同研究では、大阪市水道局膜ろ過試験フィールドにおきまして、淀川原水を対象に、当社膜用 PAC を適用して最適運転条件の確立や本剤導入を想定した際の水処理ランニングコストの低減とその評価を検証いたします。本研究で得られた知見により、膜処理の安定化・省スペース化・運転管理の簡素化を確立し、水インフラの高度化と膜用 PAC の市場浸透を進めてまいります。

また、当社は「長期ビジョン 2050」に掲げる環境に配慮した化学素材で循環型社会を実現するため、成長分野である環境配慮型の水処理薬剤の普及に向け、積極的に投資してまいります。



図 1. 大阪市水道局膜ろ過試験フィールド
(最適先端処理技術実験施設)



図 2. 膜用 PAC 外観

お問い合わせ先

多木化学株式会社

化学品営業部長 近藤 善紀

TEL : 079-437-0654

FAX : 079-437-8685

E-mail : kaei@takichem.co.jp

以上